



ケータイ・ネット
現状と問題点学ぶ

広沢小家庭教育学級

桐生市立広沢小学校
(彦部清美校長)のPT
A(杉戸健二会長)によ
る家庭教育学級「ケータ

ケータイ・ネット社会の現状と問題点につ
いて話した家庭教育学級(広沢小体育館で)

イ・ネットに関する講習
会」がこのほど、同校体
育館で行われ、群馬子ど
もセーフネットの工藤英
人さんが、子どもたちを
取り巻くケータイ(携帯
電話)やインターネット
社会の現状と問題点など
について話した。

同校では昨年11月にも
同様の講座を開いている
が、ケータイ・ネット社
会は機器や環境の発展・
拡大にともない日々刻々
と変わりつつある現状が
あり、「以前聞いたから
大丈夫、というものでは
ない」(彦部校長)。そこ
であらためて今回、授業
参観の日に学級懇談会前
の時間を使い、5、6年

生の保護者を対象に家庭
教育学級として実施。約
200人が受講した。

講演で工藤さんは、「ブ
ラックサイト」「グレー
サイト」「スマホ(スマー
トフォン)・ゲーム機の
問題点」などについて、
プロジェクターで実際の
画面を見せながら解説。
「子どもたちが調べ学習
などで使うホワイトゾー
ンから、学校裏サイトな
どグレーゾーン、違法・
非行に直結するブラック
ゾーンへ誘導する仕組み
(わな)がある」などと
現状について警鐘を鳴ら
し、家庭・保護者の見守
りや指導の重要性を説い
ていた。